

令和元年度 地域福祉フォーラム

# 東京力 × 無限大

地域の特性やニーズに応じた多様な小地域福祉活動を生み出している地域住民のネットワーク活動は、制度による支援だけでは対応が困難な孤立死、虐待、生活困窮、8050問題、多国籍化などによる福祉課題の予防や解決につながっており、ますますの展開が期待されています。

このフォーラムでは、多様な人材や社会資源が集まる大都市東京ならではの可能性や課題に目を向け小地域福祉活動の推進を目的として共に学び合う機会とします。みなさまのご参加を、心よりお待ちしております。

日時：2020年3月1日(日) 13時～17時(開場：12時30分)

会場：飯田橋レインボービル 7階大会議室 ほか

※分科会は上記のほか、同ビル内各会議室にて開催します。

参加対象：地域福祉に関心のある方

(地域福祉に関わる仕事・活動に関わっている方、学生、一般市民等どなたでも参加できます)

参加費：500円(当日受付でお支払いください) 定員：200人

## 基調講演

13時～14時15分(会場：飯田橋レインボービル 7階大会議室)

## テーマ：誰が取り組む？誰もが取り組む？地域共生社会づくり

～住民視点から考える地域共生社会づくり～

政府が唱える「一億総活躍社会」の中でその重要な要素である地域共生社会に向けた取り組みは、どのように進めようとしていくのか？国、都道府県、市区町村の役割は？住民によるボランティア活動だけでなく、企業による取り組みは？

地域共生社会の実現にむけた取り組みの全体像を今一度見直し、住民はどこに視点を置いて活動を進めていけば良いかを考える機会とします。



講師：松端 克文さん(武庫川女子大学 文学部 心理社会福祉学科 教授)

### プロフィール

専攻分野：社会福祉学(地域福祉論、社会福祉サービス論)

主な研究テーマ：地域福祉の推進方法に関する研究

地域を舞台に、地域発で、自治的に私たち(地域住民)がより“豊か”に暮らしていくことのできる社会に変えていくための地域福祉の方法論や社会福祉サービスのあり方を研究中。特に“私たち”(コミュニティ)をつくるための考え方や方法(コミュニティ・プラクティス)について研究中。

『地域の見方を変えると福祉実践が変わる—コミュニティ変革の処方箋—』他、著書多数。

日本地域福祉学会理事・副会長、[KOBE北・コミュニティデザインLab.](KCDラボ)代表など

## 分科会

14時30分～17時 ※詳細は裏面をご参照ください

- 主催● 東京都内社会福祉協議会職員連絡会 (企画運営：地域福祉フォーラム部会)  
社会福祉法人東京都社会福祉協議会
- 問合せ● 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉担当  
〒162-8953 新宿区神楽河岸1-1 (TEL) 03-3268-7186 (FAX) 03-3268-7222  
(E-mail) chiiki\_07@tcsww.tvac.or.jp

～この事業は、東京都共同募金会による配分金により開催します～

## 8050問題について考える ～地域の私たちができること～

定員60名

分科会  
①

ひきこもり状態が長期化することにより、80代の親と50代の子の世帯が孤立し、経済的困窮や介護問題等生きることに行き詰まってしまふ「8050問題」。平成31年3月、内閣府は40～64歳の中高年の「ひきこもり状態にある人」が推計61.3万人と発表し、ひきこもり状態の長期化や高齢化が表面化されつつあります。今回、ジャーナリストの池上氏を講師に迎え、8050問題の現状や課題等についてのご講演をいただいた後、当事者・家族・支援者の3者でディスカッションをしていただきます。支援が必要な方たちの声を直に聞き、親子共倒れにならないために地域でできることや心構えなどを考えます。

講師・進行/池上正樹氏(ジャーナリスト) パネラー/●朝比奈ミカ氏(中核地域生活支援センターがじゅまる センター長) ●市川乙允氏(NPO法人楽の会リーラ 事務局長) ●ぼそと池井多氏(VOSOT(チームぼそと)・ひそ会)

## 子どもの貧困・虐待 ～私たちにできること～

定員50名

分科会  
②

ニュースでは日々悲しい事件が流れているのを目にして「自分には何ができるかな?」と考えられた方はたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか?親だけでなく地域の皆さんと共に子ども達を見守り、育てることで変えられることがあるかもしれません。話題に上がるだけで終わらせないために予防的に地域で行っている活動や、地域で安心した暮らしが送れるように支援している方をお招きし、私たちが今からできることを考えていきたいと思います。

ファシリテーター/上條理恵氏(東京経営短期大学特任准教授) 報告者/●山田アキ菜氏(にこにこ食堂 代表)(板橋区) ●荒井佑介氏(NPO法人サンカクシャ 代表理事) ●高橋亜美氏(アフターケア相談所ゆずりは 所長)

## 障がい者スポーツがもたらす地域参加 ～共生社会の可能性～

定員40名

分科会  
③

障がい者への理解は、障がい者が地域にいかに参加できているかによって変わるものではないでしょうか。近年、障がい者スポーツの普及が進められており、地域に参加する機会が徐々に増えています。継続性というスポーツが持っている特性を活かし、障がいのあるなしに関係なく障がい者スポーツに参加できる機会を作っていくことで、共生社会づくりを進めることができるのではないのでしょうか。今回のフォーラムでは、障がい者スポーツに関わっている方にお越しいただき、障がい者の地域参加と障がい者への理解と一緒に考えます。

コーディネーター/和秀俊氏(田園調布学園大学 准教授) 報告者/●小倉悟氏(小平市社会福祉協議会 あおぞら福祉センター 所長) ●北原佳代氏(NPO法人黄金井倶楽部 理事・リフレッシュくらぶ講師)

## 身近にあった地域貢献 ～やさしい街のつくり方～

定員50名

分科会  
④

社会貢献?地域貢献活動?何をすれば?大変そう…。でも、企業も地域の一員、地域社会の中で生きています。地域貢献活動に取り組んでやさしい街をつくりませんか?頑張らなくてもできる身近な地域貢献を紹介したく、すでに成功している商店会、企業、コーディネートする社協の方々へ活動に至った経緯、得られた効果についてお話いただきます。やさしい街をつくるためのヒントがたくさん詰まった分科会です。みなさまのご参加をお待ちしています。

コーディネーター/松端克文氏(武庫川女子大学 教授) 報告者/●益田智史氏(小金井けやき通り商店会 会長) ●宮田賀代子氏(板橋区介護サービス全事業所連絡会 代表) ●株式会社ファミリーマート

## 参加申込

●2月14日(金)締切

以下により、**FAX 03-3268-7222** または **メール chiiki\_07@tcs.w.tvac.or.jp** 宛にお申込み下さい。希望多数により第1希望以外の分科会をご案内する場合は、2月25日(火)までに、ご記入いただいた連絡先へご連絡いたします。連絡がない場合は当日、直接会場にお越し下さい。

ふりがな 個人名	分科会番号		所属または普段の活動 (例) 社協職員、民生委員、ボランティア活動者、学生	主たる活動地 (区市町村名)
	第1希望	第2希望		
連絡担当者 氏名	連絡先		TEL E-mail	FAX
車いすの方、手話通訳、要約筆記、介助等が必要な方は、その旨ご記入ください				

## 会場アクセス

### ○飯田橋レインボービル

(新宿区市谷船河原町11)

JR「飯田橋」駅西口改札または地下鉄B3出口から徒歩6分

※地下鉄は有楽町線・南北線・東西線・大江戸線利用

